

1. 科目名 (単位数)	臨床心理学特殊研究 (4 単位)	3. 科目番号	PSMP7236
2. 授業担当教員	鶴 光代		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	通年
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		
7. 講義概要	臨床心理学の主要なアプローチについて学び、その背景となる考え方を知る。また、臨床心理学の各分野での問題について理解する。各分野・アプローチでの臨床心理学的研究方法や、基礎研究とのつながりについて考察する。講義は、研究論文の購読をもとに展開する。		
8. 学習目標	1. 将来、大学、及び、大学院の研究者、指導者になるために臨床心理学における研究ができて、指導できるようになるため、この分野での幅広い知識を習得して、考え方を理解する。 2. 臨床心理学上の問題について、基礎研究と臨床の繋がりを理解し、研究し実践できる力量を身につける。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 内外の文献を読んで、研究発表を行い、それについて一緒に討議研究する。 2. 各アプローチや分野について、概要をまとめ、問題点についてレポートとして、まとめる。 3. 臨床心理学における臨床心理学的援助と研究のつながりについてレポートにまとめる。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 特になし。 【参考書】 各種心理療法、カウンセリング法についての研究論文等を用いる。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 精神力動理論、人間性心理学理論、認知行動理論、体験治療論・課題解決法についての最近の知見をレポートにまとめ、臨床心理学上の問題を説明した。 臨床心理学上の問題を通して研究課題を明らかにし、研究を実践していく力を身につけた。 ○評定の方法 研究発表・討議内容 50%、レポート 50%		
12. 受講生へのメッセージ	1. 大学、大学院の教員となり、研究指導ができるように実力をつける。 2. 研究論文を作成し、学会で発表する。研究雑誌に投稿する。		
13. オフィスアワー	火曜日 15:00~20:00		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	1年間の研究方針を発表し、各自の発表テーマを決める。		
【学習の目標】	臨床心理学について、自らのテーマを明確にする。		
【学習の内容】	臨床心理学における歴史の変遷を理解し、各アプローチの違いを把握する。		
【キーワード】	エビデンスベースド、ナラティブベースド、臨床心理学のアカウンタビリティ		
【学習の課題】	大学院に進学した目的を再認識してから、講義に臨むように。		
【学習する上での留意点】	積極的に討議に参加すること。		
2~4. テーマ	精神力動理論からのアプローチ		
【学習の目標】	精神力動理論における研究の最近動向を知る。		
【学習の内容】	フロイトに始まる精神分析の歴史をたどる。また、母子関係理論を中心に現代精神分析について学ぶ。		
【キーワード】	関係性、こころの内面、転移・逆転移		
【学習の課題】	いくつか提示する最近の論文をあらかじめ読んでくる。		
【参考文献】	その都度提示する。		
【学習する上での留意点】	学部・修士課程での学習を復習して、基本的な用語について理解した上で受講すること。		
5~7. テーマ	人間性心理学理論からのアプローチ		
【学習の目標】	人間性心理学の考え方、アプローチ、さらにその多様性と可能性について理解する。		
【学習の内容】	ロジャースのカウンセリング理論、ナラティブ・セラピー、ソリューション・フォーカスドアプローチなど、人間性心理学に基づく各アプローチについて学ぶ。それらの共通する考え方を理解する。		
【キーワード】	社会構成主義・社会構築主義		
【学習の課題】	いくつか提示する最近の論文をあらかじめ読んでくる。		
【参考文献】	その都度提示する。		
【学習する上での留意点】	学部・修士課程での学習を復習して、基本的な用語について理解した上で受講すること。		
8~10. テーマ	認知行動理論からのアプローチ		
【学習の目標】	認知行動理論の基本的な考え方と、近年における広がりについて理解する。		
【学習の内容】	認知行動療法の歴史、基本的な考え方、様々な問題に対する各技法、最近の広がりについて学ぶ。		
【キーワード】	エビデンスベースド、ケースフォーミュレーション		
【学習の課題】	いくつか提示する最近の論文をあらかじめ読んでくる。		
【参考文献】	その都度提示する。		
【学習する上での留意点】	学部・修士課程での学習を復習して、基本的な用語について理解した上で受講すること。		
11~13. テーマ	体験治療論・課題解決法からのアプローチ		
【学習の目標】	体験原理と課題解決の視点をもつことができるようにする。		
【学習の内容】	体験原理と課題解決法の考え方を臨床動作法を通して理解する。		
【キーワード】	体験の内容と様式(仕方)		
【学習の課題】	いくつか提示する最近の論文をあらかじめ読んでくる。		
【参考文献】	その都度提示する。		

	【学習する上での留意点】 学部・修士課程での学習を復習して、基本的な用語について理解した上で受講すること。
14～16.テーマ	教育分野での臨床心理学的問題
【学習の目標】	スクールカウンセリングや特別支援教育における臨床心理学的問題について最近の研究動向を学ぶ。
【学習の内容】	文献をもとに、最近の研究成果を学ぶ。最近の介入技法、研究方法を明らかにする。
【キーワード】	不登校、いじめ、発達障害
【学習の課題】	いくつか提示する最近の論文をあらかじめ読んでくる。
【参考文献】	その都度提示する。
【学習する上での留意点】	問題意識をもって議論に参加すること。
17～18.テーマ	福祉分野での臨床心理学的問題
【学習の目標】	子育て支援、虐待対応、障害者支援、高齢者支援等における臨床心理学的問題について最近の研究動向を学ぶ。
【学習の内容】	文献をもとに、最近の研究成果を学ぶ。最近の介入技法、研究方法を明らかにする。
【キーワード】	虐待、子育て支援、障害者の就労支援、認知症
【学習の課題】	いくつか提示する最近の論文をあらかじめ読んでくる。
【参考文献】	その都度提示する。
【学習する上での留意点】	問題意識をもって議論に参加すること。
19～20.テーマ	医療・保健分野での臨床心理学的問題
【学習の目標】	医療・保健分野での臨床心理学的問題について、最近の研究動向を学ぶ。
【学習の内容】	文献をもとに、最近の研究成果を学ぶ。最近の介入技法、研究方法を明らかにする。
【キーワード】	鬱・不安、統合失調症、生殖医療、終末期医療、HIV 感染
【学習の課題】	いくつか提示する最近の論文をあらかじめ読んでくる。
【参考文献】	その都度提示する。
【学習する上での留意点】	問題意識をもって議論に参加すること。
21～22.テーマ	産業・労働分野での臨床心理学的問題
【学習の目標】	産業・労働分野での臨床心理学的問題について、最近の研究動向を学ぶ。産業カウンセラーについて学ぶ。
【学習の内容】	文献をもとに、最近の研究成果を学ぶ。最近の介入技法、研究方法を明らかにする。
【キーワード】	職場メンタルヘルス、自殺予防、復職支援
【学習の課題】	いくつか提示する最近の論文をあらかじめ読んでくる。
【参考文献】	その都度提示する。
【学習する上での留意点】	問題意識をもって講義に参加すること。
23～24.テーマ	司法・法律・警察分野での臨床心理学的問題
【学習の目標】	司法・法律・警察分野での臨床心理学的問題について、最近の研究動向を学ぶ。
【学習の内容】	文献をもとに、最近の研究成果を学ぶ。最近の介入技法、研究方法を明らかにする。
【キーワード】	被害者支援、触法少年、薬物依存、性犯罪
【学習の課題】	いくつか提示する最近の論文をあらかじめ読んでくる。
【参考文献】	その都度提示する。
【学習する上での留意点】	問題意識をもって講義に参加すること。
25～26.テーマ	災害・危機介入分野での臨床心理学的問題
【学習の目標】	災害・危機介入分野での臨床心理学的問題について、最近の研究動向を学ぶ。
【学習の内容】	文献をもとに、最近の研究成果を学ぶ。最近の介入技法、研究方法を明らかにする。
【キーワード】	心理学的ファーストエイド、トラウマワーク
【学習の課題】	いくつか提示する最近の論文をあらかじめ読んでくる。
【参考文献】	その都度提示する。
【学習する上での留意点】	問題意識をもって講義に参加すること。
27～30.テーマ	臨床動作法の理論と技法を通して心理臨床を考える
【学習の目標】	臨床動作法の理論と技法を通して、心理臨床における体験様式の変化について考える。
【学習の内容】	臨床動作法の研究成果がどのように臨床に活かされるのかを学ぶ。臨床動作法の技法を体験的に学び、心理臨床における意義を考察する。
【キーワード】	動作、体験様式、自己弛緩体験、自体軸感、自体確実感
【学習の課題】	いくつか提示する最近の論文をあらかじめ読んでくる。
【学習する上での留意点】	アタッチメント理論について学ぶだけでなく、考え方を学ぶように。